

# 家庭教育通信

小学校低学年期のこどもたち

令和2年5月11日発行

## 「学校に行きたくない」と言われたら…

もし「学校へ行きたくない」と言われたら…。小学校生活のスタートにあたって親として心がけることは？

### こどもの声を聴く

まず大切にしたいのは、こどもの思いを慌てずゆったり聴き取ることです。

「どうして行きたくないの？」と親がびっくりして心配そうな顔で詰問口調になるのはNGです。「私もそんなことあったな」ぐらいの気持ちで、何が嫌なのかを共感的に探りましょう。

「幼稚園のほうが遊べて良かった」「先生の声が大きくてこわい」など、入学当初のお困りごとは、言葉にすればかわいいものです。一方で、言葉にならないモヤモヤした心身の疲れがあるのかもしれない。

「行きたくない」と言われたら「そうか、そうなんだね」と否定せずまずは受け止め、少し落ち着いて、心がほぐれたら「行きたくなるにはどうしたらいいかな？」と、お困りごとの解決方法をいっしょに考える姿勢を見せることも効果があります。

### 担任の先生に聞く

学校に行きたくない理由がはっきりしなくても、担任の先生には家庭でのこどもの状況を、躊躇せず冷静に事実として伝えるほうが良いです。

先生はプロとして学校でのこども達の様子を毎日注意深く見ています。家庭での様子を話すことで、先生のもつこども理解の質を深めるだけでなく、授業がより良く進むことにもつながるのです。

そして親にとっても、我が子の学校での様子を先生から教えてもらうことによって、心配事に新しい光が当たって見えてくるかもしれません。

「忙しい先生にこんなことを相談していいのだろうか」と迷う親御さんも多いと聞きますが、遠慮は禁物です

こどもを健全に育てていく仲間として、親と教師が協力関係を結んで行くことは、充実した学校生活のために、とても大事なことです。

もし担任の先生に聞きにくい場合は、保健室の養護教諭やスクールカウンセラーもいます。相談窓口を気軽に活用してくださいね。

地域教育課社会教育担当  
Tel (3647) 9676

# 家庭教育通信

小学校低学年期のこどもたち

令和3年1月11日発行

## ゲームばかりして困っています～親のかかわり方のポイント

寒い季節、室内で過ごす時間が増え、こどもがゲームに夢中になりすぎて困るとの声を聞きます。親はどのようにかかわれば良いのでしょうか。こどもにとってのゲームの魅力を考えながら、対処方法を探ります。

### 力への欲求・勝ちたい心

個性として強弱はありますが「勝ちたい、負けたくない」という欲求は人にとって自然なもの。それがあってこそ工夫する知恵や飛躍が可能になることも多く、負けず嫌いにも大事な意味があります。

勝って自分の「力」を感じることは、こどもにとって快感ですし自信にもなります。

ゲームには、そういう欲求を満足させる何かが隠れています。最近は協力や役割を考えさせるようなタイプもあるようです。そんな魅力をまずは理解してあげましょう。

### ゲームばかりする理由は？

しかし、ゲームばかりでは、親として困りますね。

そこで、お子さんの状況をよく考えてみます。

- ①ゲーム以外に楽しいことがない
- ②他に好きなこともあるが、このゲームが今、楽しい

②の場合はあまり心配しなくても、例えば、幼児期に絵本読み聞かせで本の世界の楽しさを味わった子は、学童期にマンガ漬けになっても、いつかまた本を読むようになると言われる。つまり、②のかかわりポイントは時間の使い方、セルフコントロールできるよう励ますことです。

しかし①の場合は親の積極的な関与が必要でしょう。

ゲーム以外の世界へ導くこと。自然の中で五感を使って遊ぶことや、音楽や芸術に触れること、他の勝負事に目を向けることなど、こどもが「楽しい！」と思える体験を試行錯誤しながら、楽しく実践してほしいと思います。

### 時間と場所を決めること

こどもの1日あるいは1週間の中で、ゲームはどのくらいの比重になっているでしょうか。親の期待とこどもの気持ちをすり合わせながら、ゲーム時間と場所を決めましょう。そして我が家のルールはしっかり守ること。

たまには親も一緒にこどもが好きなゲームを楽しんでみることも、お勧めですよ。

地域教育課社会教育担当  
Tel (3647) 9676